

## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 日本フェンオール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6870 URL <http://www.fenwal.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 仁志  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 田原 康治 TEL 03-3237-3561  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月1日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	8,286	△8.7	739	△14.3	800	△11.2	18	△97.0
2018年12月期第3四半期	9,072	△13.1	863	△9.5	902	△10.4	616	△13.6

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 134百万円 (△72.1%) 2018年12月期第3四半期 482百万円 (△50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	3.09	—
2018年12月期第3四半期	104.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	15,957	11,613	72.8	1,970.86
2018年12月期	16,615	11,820	71.1	2,005.99

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 11,613百万円 2018年12月期 11,820百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2019年12月期	—	0.00	—		
2019年12月期（予想）				58.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,389	△3.9	655	19.1	739	17.7	519	2.8	88.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	5,893,000株	2018年12月期	5,893,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	399株	2018年12月期	332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	5,892,627株	2018年12月期3Q	5,892,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化などを背景にした世界経済の減速を受けて輸出は低迷したものの、省力化投資などによる設備投資が回復基調で推移するなど内需は底堅く推移いたしました。今後の国内景気は、人手不足や働き方改革を背景とした省力化投資や、老朽化した設備の更新など構造的要因がもたらす需要に支えられるものの、貿易摩擦の不透明感などにより力強さに欠ける状況で推移すると見込んでおります。

このような事業環境の下、当社グループにつきましては、電力等の基幹産業向け防災設備案件に加え、特定企業向け特殊防災設備案件の一部が動き出したこと等によりSSP部門の受注高は好調に推移したものの、海外子会社の受注活動停止に伴う受注減少、半導体市場の回復の遅れ、メディカル部門の人工腎臓透析装置における新型機種の新市場投入の遅れなどにより厳しい環境で推移いたしました。

以上の結果、受注高は9,059百万円(前年同四半期比2.8%増)、売上高は8,286百万円(前年同四半期比8.7%減)となりました。利益面におきましては、売上高の減少により営業利益は739百万円(前年同四半期比14.3%減)、経常利益は800百万円(前年同四半期比11.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は海外子会社事業整理損626百万円を計上したこと等により、18百万円(前年同四半期比97.0%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### SSP (Safety Security Protection) 部門

特定客先の工場設備向け特殊消火設備の受注については引き続き順調に推移しております。また、継続中である電力等の基幹産業向け防災設備についても工期や範囲の変更は有るものの見込みどおり受注案件が増加しております。

産業用設備機器については、防爆型煙感知器の認知向上のための啓蒙活動を行い販売数量が前年同四半期と比較して増加しておりますが、半導体市場向けの産業用検知器は米中貿易摩擦の影響等により販売数量が減少し、当連結会計年度内の回復は厳しい状況が続いております。さらに、業界全体では人材不足が継続しており、案件の遅延や計画の見直し、受注の見送りなどの事案が引き続き発生しております。

以上の結果、受注高は4,217百万円(前年同四半期比35.2%増)、売上高は3,504百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。

今後につきましては、電力等の基幹産業向け防災設備案件の一部について、完成が翌連結会計年度に延期となる物件があるものの、型式更新した受信機の販売開始、既設の機器更新や改修工事案件の販売活動強化により、ほぼ業績予想どおりとなる見込みであります。

#### サーマル部門

主力製品である熱板及びセンサーにつきましては、メモリ需給の軟化による半導体製造装置の生産調整並びに各デバイスメーカーの設備投資抑制などの影響により、厳しい事業環境が継続しております。

また、その他の制御機器等につきましても、米中の貿易摩擦の影響などによる設備投資の冷え込みにより製品の出荷が大きく減少いたしました。

以上の結果、受注高は841百万円(前年同四半期比12.6%減)、売上高は787百万円(前年同四半期比19.6%減)となりました。

今後につきましては、メモリ在庫の調整が進み徐々に投資再開の動きが感じられるものの、長期化する米中の貿易摩擦や日韓関係の悪化など不透明な事業環境の影響もあり、回復するまでには至らないものと見込んでいるため、ほぼ業績予想どおりとなる見込みであります。

メディカル部門

主力製品である海外向け人工腎臓透析装置においては、新型機種における一部出荷国の認証取得遅延とその後の部品入手難により出荷が大幅に減少しておりましたが、当第3四半期連結会計期間より、ようやく出荷が順調に増加いたしました。しかしながら、第2四半期連結累計期間の売上高の減少をカバーするまでには至りませんでした。

以上の結果、受注高は950百万円(前年同四半期比22.2%減)、売上高は954百万円(前年同四半期比19.3%減)となりました。

今後につきましては、海外向け人工腎臓透析装置は、第2四半期連結累計期間までの出荷遅延分を解消すべく取り組んでまいります。客先の在庫調整等もあり業績予想より若干減少する見込みであります。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

国内においては、引き続き主要顧客である事務機器業界の需要低迷に加え、海外子会社における受注活動停止による売上高減少により大幅に売上が減少いたしました。一方、国内の医療機器向け、セキュリティ機器向け製品については、客先の開発段階から参画することにより安定した需要が継続しております。

以上の結果、受注高は3,050百万円(前年同四半期比13.0%減)、売上高は3,039百万円(前年同四半期比14.1%減)となりました。

今後につきましては、海外子会社の受注活動停止に伴い売上高は大幅に減少する見込みであります。国内市場における、医療機器及びセキュリティ機器の試作段階からの参画による売上増加等も見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は15,957百万円となり、前連結会計年度末16,615百万円に比べ657百万円(4.0%)減少しております。主な減少要因は海外子会社仕入額減少等による「原材料」371百万円(23.5%)、売上減少等による「電子記録債権」308百万円(26.5%)、「完成工事未収入金」215百万円(15.5%)であり、主な増加要因は投資有価証券の評価替えによる「投資有価証券」205百万円(7.7%)であります。

負債合計は4,344百万円となり、前連結会計年度末4,794百万円に比べ450百万円(9.4%)減少しております。主な減少要因は海外子会社仕入額減少等による「支払手形及び買掛金」524百万円(27.5%)であり、主な増加要因は「賞与引当金」94百万円(一%)であります。

純資産合計は11,613百万円となり、前連結会計年度末11,820百万円に比べ207百万円(1.8%)減少しております。主な減少要因は配当金の支払341百万円によるものであり、主な増加要因は「その他有価証券評価差額金」156百万円(19.3%)であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想につきましては、2019年7月31日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2019年10月31日)公表いたしました「通期業績予想の修正、特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,286,827	5,169,045
受取手形及び売掛金	1,753,948	1,715,784
電子記録債権	1,165,254	856,618
完成工事未収入金	1,394,196	1,178,465
有価証券	300,000	500,000
製品	238,726	143,775
仕掛品	203,561	229,447
原材料	1,576,596	1,205,325
未成工事支出金	477,418	559,438
その他	66,076	54,886
貸倒引当金	△3,899	△3,899
流動資産合計	12,458,708	11,608,887
固定資産		
有形固定資産	1,156,163	1,178,614
無形固定資産	172,576	144,807
投資その他の資産		
投資有価証券	2,676,846	2,882,727
その他	173,351	480,206
貸倒引当金	△22,135	△337,555
投資その他の資産合計	2,828,062	3,025,378
固定資産合計	4,156,802	4,348,800
資産合計	16,615,511	15,957,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,910,448	1,385,656
工事未払金	440,555	433,224
短期借入金	233,300	300,000
1年内償還予定の社債	36,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	300,000
未払法人税等	257,292	12,008
賞与引当金	—	94,599
役員賞与引当金	—	15,000
事業整理損失引当金	—	93,473
その他	501,025	513,247
流動負債合計	3,578,621	3,467,209
固定負債		
社債	300,000	100,000
長期借入金	150,000	50,000
役員退職慰労引当金	77,592	23,628
退職給付に係る負債	389,921	351,979
資産除去債務	23,852	23,852
その他	274,864	327,510
固定負債合計	1,216,231	876,971
負債合計	4,794,852	4,344,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	8,455,018	8,131,456
自己株式	△289	△394
株主資本合計	10,911,846	10,588,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	809,043	965,529
為替換算調整勘定	198,899	132,034
退職給付に係る調整累計額	△99,131	△72,236
その他の包括利益累計額合計	908,811	1,025,327
純資産合計	11,820,658	11,613,507
負債純資産合計	16,615,511	15,957,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,072,601	8,286,329
売上原価	6,776,948	6,174,439
売上総利益	2,295,653	2,111,890
販売費及び一般管理費	1,432,407	1,372,489
営業利益	863,245	739,400
営業外収益		
受取利息	13,554	18,074
受取配当金	31,185	27,550
為替差益	—	8,459
その他	3,370	15,118
営業外収益合計	48,111	69,202
営業外費用		
支払利息	6,668	5,347
社債発行費	—	1,409
為替差損	1,644	—
その他	1,028	992
営業外費用合計	9,341	7,750
経常利益	902,015	800,852
特別利益		
投資有価証券売却益	—	42,854
特別利益合計	—	42,854
特別損失		
事業整理損	—	626,265
特別損失合計	—	626,265
税金等調整前四半期純利益	902,015	217,441
法人税、住民税及び事業税	293,718	226,004
法人税等調整額	△8,452	△26,775
法人税等合計	285,266	199,228
四半期純利益	616,749	18,212
親会社株主に帰属する四半期純利益	616,749	18,212



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	616,749	18,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148,066	156,485
為替換算調整勘定	6,042	△66,864
退職給付に係る調整額	7,641	26,895
その他の包括利益合計	△134,381	116,515
四半期包括利益	482,367	134,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482,367	134,728

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,372,805	979,304	1,182,148	3,538,342	9,072,601	—	9,072,601
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,372,805	979,304	1,182,148	3,538,342	9,072,601	—	9,072,601
セグメント利益	757,479	200,440	42,329	223,250	1,223,499	△360,253	863,245

(注) 1 セグメント利益の調整額△360,253千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,504,881	787,707	954,028	3,039,711	8,286,329	—	8,286,329
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,504,881	787,707	954,028	3,039,711	8,286,329	—	8,286,329
セグメント利益	838,149	97,219	23,129	159,727	1,118,225	△378,825	739,400

(注) 1 セグメント利益の調整額△378,825千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。